

3月12日（木）・13日（金）国際学生フォーラム

総括

井上佳苗

フォーラムの目標は、大きな災害の被害を受けたことのない学生たちが、震災を含む様々な災害を自分たちにも起こりうるものとして理解を深めることができるようにすることである。そのため、海外の学生に東日本大震災の様子をより身近に感じてもらうために、国際学生フォーラムに参加している本学学生の当時の経験や思いを30分程度で紹介した。テレビでしか震災の状況を把握できなかった海外の人々にとっては、大震災があたかも日本全体に影響を及ぼしたかのように思えたかもしれないが、私たちの経験を話すことで、どの地域にいた人がどのような影響をどれほど受けたのかを知ることができたのではないだろうか。

各大学のプレゼンテーションでは、それぞれの国で起こる災害や災害対策などについて発表してもらった。日本に比べて比較的災害が起きにくい国々の学生が、自分の国の災害について調べることで、自分たちが災害と無関係でないことを感じることもできたのではないだろうか。また、多くの学生が、震災が起きたときに私たちに何ができるかを示唆してくれた。自分たちを災害から守るために、防災グッズを備えておいたり避難経路や連絡方法を日頃から家族と話し合っておいたりするという意見が出たのはもちろん、世界のどこかで災害が起きたとき、ボランティアとして労働力を提供するのみならず、大学生という身軽さを活用して被災地の人々の思いを発信することができるし、被災者に希望を与えるために復興コンサートを開いたりメッセージを届けたりすることができるという意見もあった。また、気軽に募金をできるシステムを紹介してくれたり、物資を的確に届けるためのアプリを提案してくれたりしたグループもあった。私たちにできることのみならず、これからの課題についてもたくさんの意見が出た。たとえば、海外からの義援金や物資が被災地の人々に届いているのか、また、そのことを人々が知ることができているのかなどである。

一通り発表が終わったあとに、グループに分かれてディスカッションをした。プレゼンテーションで様々な国の災害の状況や考えを把握できたところで、それに対する意見を出し合って、より考えを深めるためである。様々な国の学生があらゆる視点からの意見を持ち寄ったことで、一人では考えつかないような意見が多く出た。

最後に学生一人一人にフォーラムで学んだことについてコメントを言ってもらったが、多くの学生が、自分でもこれから災害について考え続けたいし、フォーラムで学んだことを自分の国の人々に伝えていきたいと話してくれた。実際、学生のひとりには、Facebook上で「国際大学生連盟」というグループを作り、日頃からお互いの国のことを学び合い、いざというときに助け合えるようなつながりを作ろうとしている。フォーラムは、単に災害に対する理解を深めただけでなく、これから私たちがどうするべきかという次のステップを考える機会になった。

希望の発信



釜山外国語大学 ゴ・ソンボム ハ・スンボン

BU FS

世界のあらゆる災害



絶え間なく続く世界の災害

BU FS

居場所を失う



辛さの連続...
全く考えの整理がつかない日々

BU FS

居場所を失う



災害で苦しんでいる人々に
本当に必要なものは何だろう

BU FS

大学生にできること

斬新でユニーク、かつ
若き私たちにできることは？



5

BU FS

大学生にできること



今を乗り越えられる
「希望」を伝えること。

BU FS

希望を発信する

BU
FS

心豊かになるものを
伝えられる方法があれば一番



復興コンサート

BU
FS



ちょっとでもくつるげる
時間と空間を作りたい

8

復興コンサート

BU
FS

大企業の協力でもっとクオリティーの
あるコンサートへ



復興コンサート

BU
FS



みんなの力で復興を祈る

10

YOU ARE NOT ALONE

BU
FS



あなたは一人じゃない

11

エリアを越えた発信

BU
FS



場所を選ばない応援

エリアを越えた発信

BU
FS



韓国で話題になっていた「イエローリボンメッセージ」

学生による、皆のための。

BU
FS



これぞ、エリアを越えた交流と活動！

名付けて「国際大学生連盟」

グローバルに活躍したい

BU
FS



大学生にできることを実際にやってみよう

15

BU
FS



生きることの楽しさ・素晴らしさを
実感するチャンス

16

希望は、

BU
FS



悲しみは分かち合い、
希望に変える

17

感動へとつながる

BU
FS



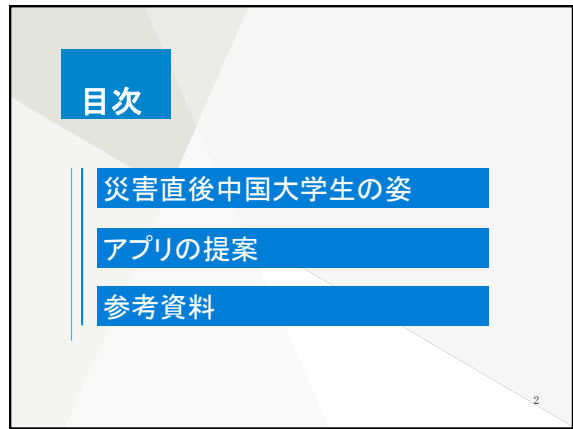
みんなと長く携われるような
関係を築いていきたい

18



終

Thank You





災害直後中国大学生の姿

雅安地震(2013年)

地震が起こった何時間後、現地の大学生王登科(当時大学一年)がすぐに「尋ね人サイト」を作った。「ネットによる救援活動第一号」と賞賛された。

四川地震寻人. 专页

写真: <http://www.36kr.com/p/202733.html>

目标手机号:

发送内容:

你自己的手机号:

(作为一个普通的大学生, 我的资金有限, 如果不是必要请勿用此发送, 把它留给真正需要的人, 谢谢)

災害直後中国大学生の姿

雅安地震(2013年)

大学生林鑫仙が、「雅安蘆山地震公益救助」という微信のチャットアカウントを作り、中国赤十字社、杏基金といった公益組織にリンクした。

写真: <http://www.36kr.com/p/202733.html>



災害直後中国大学生の姿

大学生が村の行政サポート

写真: <http://weibo.com>

写真: news.youth.cn

災害直後中国大学生の姿

写真: <http://weibo.com>

写真: www.chinanews.com

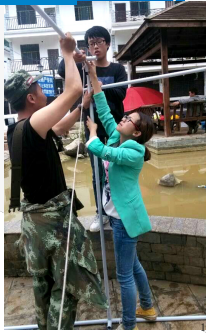
昭通市から800人が現場に駆けつけた。
 楊泉: 4時間たゆまず素手で村民を掘り出した。
 記者に取材されたとき、「時間がないから後で答えてもいい?」と返事。
 饒祥勝: 5429人を訪問。三日間であわせて5時間しか寝ていなかった。

災害直後中国大学生の姿



写真: <http://www.wenming.cn>

王坤など(雲南)
七日七晩不眠。
30度の高温を耐え、216人を避難所に導いた。
ミネラルウォーターを200箱、ミルクを280箱、
衣服600着、ダイナモを200台募集した。



災害直後中国大学生の姿



黄阮霞(湖南)
毎日高さ2,000Mの山を登り、被災者の心
ケアをした。

写真: news.youth.cn

14

災害直後中国大学生の姿



写真: news.youth.cn

笑顔と感謝をもらった

ウィルソン台風(2014・海南)



災害直後中国大学生の姿

ウィルソン台風

道の片付け・清掃補助



図源: <http://img1.cache.netease.com>



図源: <http://tw.zqu.edu.cn/gongzuodongtai/2014/0901/382.html>
<http://img1.cache.netease.com>

17

災害直後中国大学生の姿



ウィルソン台風

被災者ケア

図源: <http://www.china.com.cn/index.shtml>

18

災害直後中国大学生の姿

ウイルソン台風

心の絆





海南出身の在外大学生：
ウェブを通じて、外国の友人の愛と
勇気を転送した。

写真提供: <http://news.163.com/14/0721/08/A256PDR300014AED.html>

19

ウイルソン台風・被災者はいくげない

転んだんじゃないよ、
そよ風に髪を乱しただけ。





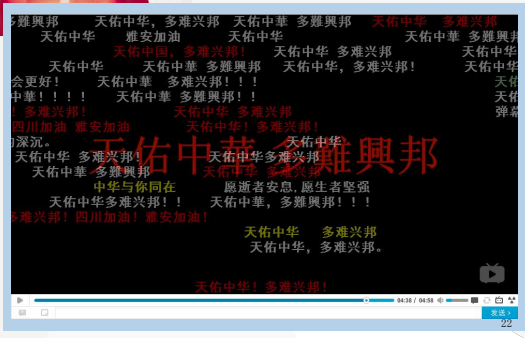
19

応援・祝福

雅安
加油
+FLY VISION



2. 災害直後中国大学生の姿



22

**科学技術の
応用**

**3. 私たちが提案する
新しい時代の救援情報
アプリ**




23

私たちが提案する救援情報アプリ

以下の問題を解決ために！

現地情報の混乱。

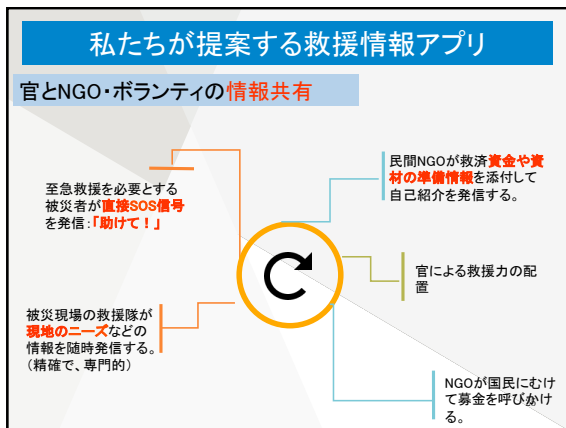
必要な場所に必要なのが届かない。



NGOやボランティアは被災情報が手に入りにくい

PC端末だと持ち運びに不便

24



私たちが提案する救援情報アプリ

災害現場の情報: 今この場所で誰が何を必要としているか。限られた資材をどう分配するか。

物資

飲料水

薬品

救助車両

- ### 私たちが提案する救援情報アプリ
- 被災状況が可視化される→優先順位を決められる。
 - 救援人員・資材を有効的に配置できる
 - 最新の現地情報が随時反映できる。
 - スマホで応用できる
-
- 随時更新される現地情報
- 被災者
ボランティア
物資

アプリのシミュレーション

情報転送

時間

xx震災

食糧

テント:99

ロケーション
E 40.46
N 108.88

完了

過去の経験を踏まえた
新しい時代の救援情報共有
アプリを提案します。

参考資料

- 1.災害看護 命を守る知識と技術の情報館 <http://www.coe-cnas.jp/index.html> 2014-12-12
- 2.災害から中国のパワーが集まった:雲南省地震から中国ボランティア活動の発展が見えた http://www.wenming.cn/zyfw/298/yw.zyfw/201408/120140808_2109950.shtml 2014-08-14
- 3.中国:四川大地震でボランティア規制—混乱に拍車をか <http://jp.ibtimes.com/articles/328881> 2014-04-25
- 4.四川大地震から学ぶ その2(ボランティアについて考える) <https://www.itscom.net/safety/column/094.html>
- 5.災害救援:ボランティアが進んでいる <http://www.ccyf.org.cn/zhuanti/kjz/volunteer/>
- 6.復旦大学生が四川大地震におけるボランティア活動について調査し、五つの問題を発見した http://zhidao.baidu.com/link?url=weXEvcUk-SbxAQwaEjLxK82jn_YPvU8-b6R1B8uRji9J76fEzHp0m66IFW8BJTVEixcaR7b6hLpPxNLzKgK2009-03-23
- 7.「中国における大規模自然災害への対応 —突発事件対応法と応急対策計画を中心に—」 宮尾 恵美 2012-03
- 8.「被災後の子供のこころのケアの手引き」 ルーテル学院大学・ChildFund 2011-04-11
- 9.「中国伝統的な文化に溢れたボランティア精神」 陳慶之 2011-02
- 10.「ボランティアとこころのケア」 日本赤十字社 2008-04
- 11.「四川大地震被災地における中国NGOの救援活動」陳 穎・杉万俊夫2010-05-28

参考資料

- 12.「東日本大震災災害ボランティアセンター報告書」全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 2012
- 13.「日本における災害ボランティア活動の論理と活動展開」菅原志保 2010
- 14.「阪神・淡路大震災におけるボランティアの活動と今後の課題」高梨成子 吉井博明 1995
15. ボランティア活動の種類と内容一覧 http://makeachangeday.com/mcd_info/mcd_actionlist/ 2015.02.22
16. 東日本大震災〈東京大学の対応について〉災害ボランティア活動Q&A http://www.u-tokyo.ac.jp/public/recovery/vol.04_QA.html 2015.02.23
- 17.「阪神・淡路大震災20年 高まるボランティアの役割」村井雅清 2015
- 18.「災害とボランティア～起・承・転・そして結の理想を求めて」レスキューストックヤード 2010
- 19.「被災地支援で大切な姿勢とは——阪神大震災でのボランティア経験から」<http://bizmakoto.jp/makoto/articles/1103/18/news007.html> 2015.02.24

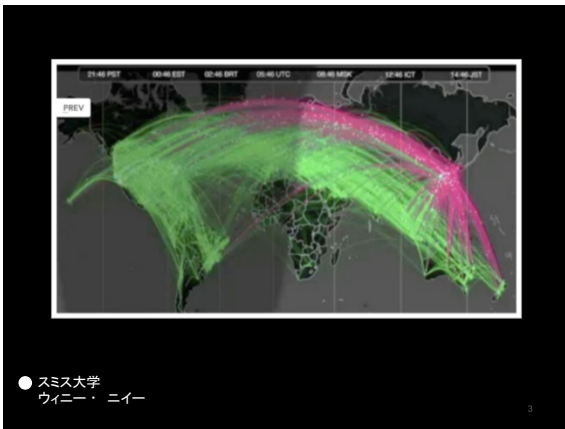
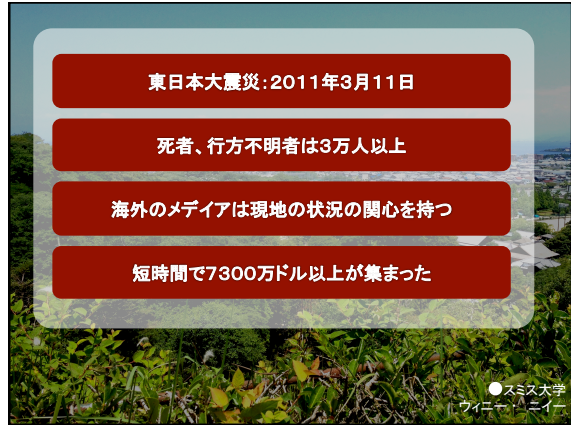
31

ご清聴どうもありがとうございました

発表者: 大連理工大学 尹思源 姜一凡

指導教師: 王冲

32



スミス大学
ウィニー・ニー

問題その三：国際関係とのパートナーシップ

パートナーシップの問題

日本へ募金しにくい

7

問題その四：異文化の理解

信頼関係を築くのに時間がかかる

海外からの支援に対する経験不足

ビジネスの文化の差

異文化の理解の難しさ

スミス大学

● スミス大学
ウィニー・ニー

二：問題解決の提案

— 海外の支援活動について

9

スミス大学
ウィニー・ニー

翻訳や通訳をする

送金や換金を手伝う

現地と海外の組織を協力する

日本のビジネス文化を世界に広める

10

スミス大学
ウィニー・ニー

オンラインの募金システムを開発する

協力者に手紙やレポートを書く

● スミス大学
ウィニー・ニー

ご清聴ありがとうございます


12

チェコ共和国

ビルネロヴァー・アナタ
バルトショヴァー・ルチエ

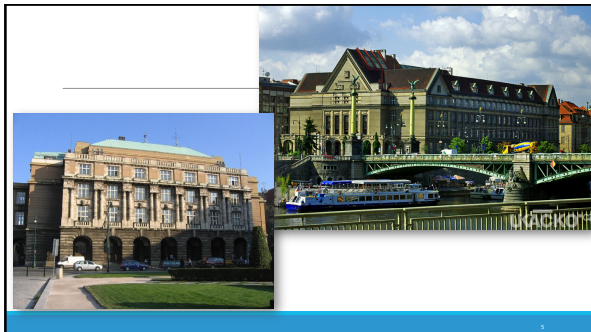


ありがとう
Děkuji -> ďakujem



チェコスロバキア

カレル大学



Krteček のアニメーション

Tomáš Baťa

Bata

Robot => ロボット

「ロボット」という言葉は
チェコの有名な作家のチャ
ペック兄弟によって発明さ
れました。

358,214 Events, 1963 - 1998

- 地震
- 洪水

構造プレート
Český masiv
火山

地震

日本ほど頻繁ではない

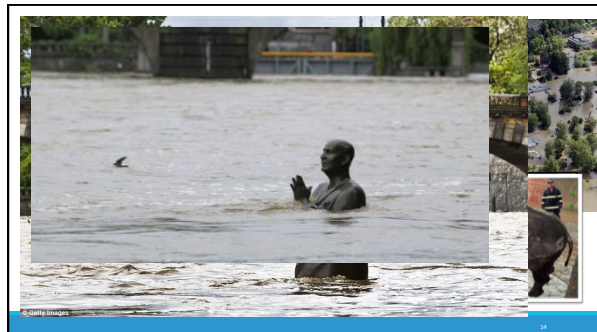
マグニチュード < 4,7

炭鉱

3.0	2011
3.6	2014
4.4	2014
4.2	2015
2.3	2013
2.1	2012
3.3	2005
3.1	2004
3.7	2008
3.5	2014

チェコ共和国と災

- 洪水
- 地震



洪水

2002年
修復に必要な金額: 366,500,000,000円

チェコ	日本
洪水	X 津波
マグニチュード4.7	X マグニチュード9

チェコの被害者を支援する団体

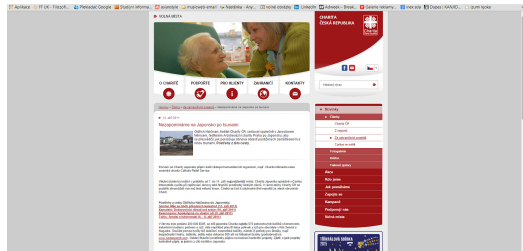
困っている人

チェコのチャリティー

赤十字



チェコのチャリティー



„Věřím, že budeme mít příležitost poznat, jak se jedna z nejbohatších zemí světa vypořádala a stále vyrovnává s ničivou přírodní katastrofou a jejími následky.“ „Děkuji všem, kteří podpořili naši sbírku. V očích světové veřejnosti jsme opět ukázali, že český národ dokáže posbírat finanční prostředky a pomoci tak lidem v nouzi v okamžiku, kdy se odněkud ozve volání o pomoc.“

Oldřich Haičman

2011年九月に「世界で最も豊かな国である日本が地震の被害から復興できると本当に心から信じています。私たちのカリタスのコレクションに寄付をした皆さん感謝しています。世界の人々にチェコの国民は困っている人々に支援することができることを証明することがまたできました。」とチェコのカリタスの代表のOldřich Haičmanが言いました。

大学生として何かできるか？

- ・通訳する
- ・情報をシェアする
- ・ボランティアとして団体に手伝う
- ・砂袋を準備する



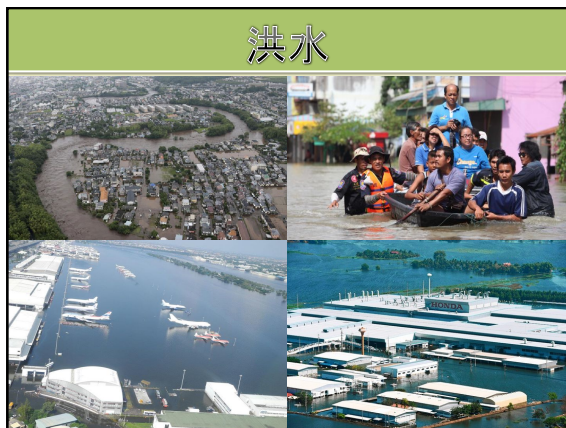
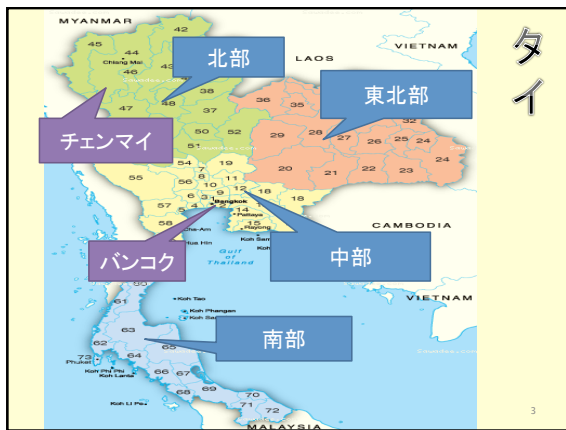
ご清聴ありがとうございました。

タイの災害と私たちのできる災害協力の可能性

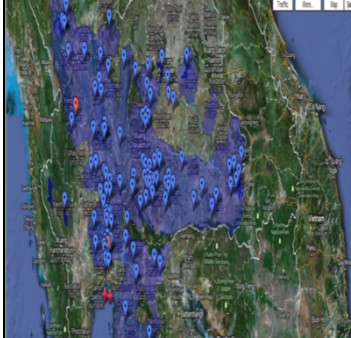
第4回 世界10大学合同国際学生フォーラム
震災復興を超えたグローバルな対話と協力



チェンマイ大学
 ラッタナーポー・チャイモンコン
 チェンマイ大学人文学部東洋言語日本語学科
 チェンマイ大学人文学日本研究センター



洪水



発生日時: 2011年
 7月31日 - 2012年
 1月16日
 死者: 813人
 被害総額:
 1兆4,250億バーツ



地震

2014年5月5日

- ・チェンライ県を中心に
- ・マグニチュード6.3
- ・死者は1人
- ・怪我人は23人
- ・被害者 54,542 人
- ・被害を受けた県7県

地震

ワット・チャーディー・ルアン
昔

ワット・チャーディー・ルアン
現在

9

煙害

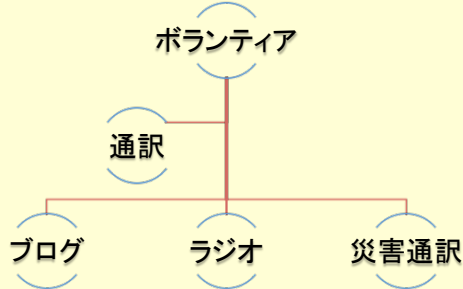


津波

2004年スマトラ沖地震

- ・死者は5,305人
- ・怪我人は8,457人
- ・被害を受けた国の中で4番目に大きな被害を受けた。

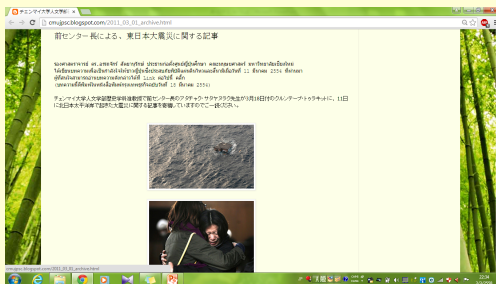
私たちにできること



ブログ



ブログ



ラジオ情報放送

FM100CMU.COM
Voice of Mass Communication [VOM]



災害時通訳・翻訳ボランティア



なぜ通訳者が必要なのか??

タイで長期滞在の日本人数

タイ国内で 51,767人(2012年)

北部タイ

- チェンマイ県では 3,800-4,000人
- チェンライ県では 400-500人
- チェンマイ県+チェンライ県 = 約4,500人

19

チェンマイでロングステイヤーの日本人数

チェンマイの日本人ロングステイヤーにほぼ近いと思われる50歳以上で、3ヶ月以上滞在している日本人総数は1,399人となっています。



20

日本人ロングステイヤーのタイ語・英語能力

回答者 70人(大部分はタイ北部居住者)

外国語の能力	ネイティブのように話せる	ほぼネイティブのように話せる	日常会話程度	基本会話程度	全然できない
タイ語(聞く・話す)	1	-	9	39	21
タイ語(読む・書く)	1	-	6	33	30
英語(聞く・話す)	-	2	12	44	12
英語(読む・書く)	-	2	17	39	12

Assistant Professor Nataya Tananone, Saranya Kongjit and Pailinpat Sutthipan.2014.Media Exposure of Japanese Elderly in Chiang Mai during the Crisis.Chiangmai university (presentation in The Fourth Kagawa University - Chiang Mai University Joint Symposium 2012 –Healthy aging and Sustainable Society-)

21

タイで日本人が災害時に必要とするメディアの順位

メディアの種類	正常な状態(順位)	危機的状態(順位)
テレビ	1	1
インターネット	2	1
人からの情報	3	2
新聞	4	3
ラジオ	5	4
雑誌	6	5

Assistant Professor Nataya Tananone, Saranya Kongjit and Pailinpat Sutthipan.2014.Media Exposure of Japanese Elderly in Chiang Mai during the Crisis.Chiangmai university (presentation in The Fourth Kagawa University - Chiang Mai University Joint Symposium 2012 –Healthy aging and Sustainable Society-)

22

まとめ

- 災害時に私たちができることは日本語通訳の能力を使って、日本人のサポートをしていくことです。
- 普段からどのように通訳ボランティアとして活動し、災害に備えていけばよいのか、まだ答えはできていません。

23

参考文献

- Assistant Professor Nataya Tananone, Saranya Kongjit and Pailinpat Sutthipan.2014.Media Exposure of Japanese Elderly in Chiang Mai during the Crisis.Chiangmai university (presentation in The Fourth Kagawa University - Chiang Mai University Joint Symposium 2012 –Healthy aging and Sustainable Society-)
- KAWAHARA Masako「タイ・チェンマイにおける日本人ロングステイヤーの適応戦略と現地社会の対応」
- Planjapantv.2015.住民の力で災害に強い地域づくり(タイ).
<https://www.youtube.com/watch?v=V7Ciz6kCfY>
- Wikipedia.タイ洪水 (2011年).2011.[http://ja.wikipedia.org/wiki/タイ洪水_\(2011年\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/タイ洪水_(2011年))
- 2014.タイ北部チェンライでマグニチュード6の地震 .<http://matome.naver.jp/odai/2139931191001827301>
- スマトラ島沖地震 (2004年).http://ja.wikipedia.org/wiki/スマトラ島沖地震_%282004年

24



ご清聴ありがとうございました



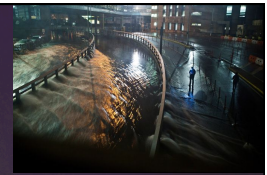
PTSD—目に見えない傷・ 災害時及び災害後の心のケア

{ ヴァッサー大学・楊 亦隆
(Yilong Yang, Vassar College)

1



中国・2014年9号台風



米国・ハリケーン
サンディの余波



中国・2013年四川地震



米国・2014年CAベイエリア地震



半壊した家



停電



電車の運転見合わせ



携帯サービスの不通

震災で使えなくなった携帯電話基地局

	3月12日	4月1日	5月9日
NITTEコム	6720カ所	6007カ所	357カ所
KDDI(au)	3680カ所	2317カ所	1157カ所
ソフトバンク	3786カ所	2827カ所	817カ所

復興への取り組み

- ☞ 命を救い、物資を送る
- ☞ 建築物を立て直す
- ☞ 経済の再生等

まずは……

4

☞ 精神面に於いても問題が生じ得る。
但し……

- ☞ 災害時・直後に、すぐ生じるとは限らない
- ☞ けがのように目に見えるとも限らない

☞ その中、PTSD

しかし……

5

☞ NHK スペシャル 東日本大震災「震災4年
被災者1万人の声」(2015.03.08<日曜>)

- ☞ 早稲田大学と共同で、アンケートを行った
- ☞ 岩手、宮城、福島
- ☞ 55,000人に配布し、1万人余りから回答を得た


東日本大震災・PTSD
現状



- ↳ PTSD
 - ☞ Post-traumatic stress disorder
 - ☞ 心的外傷後ストレス障害
- ↳ 命の危険を感じる
- ↳ 心的外傷（トラウマとも）を負う
- ↳ 精神的衝撃を受ける
- ↳ 患者には
 - ☞ 著しい苦痛
 - ☞ 生活機能の障がい

PTSDとは……

8



- ↳ 命の安全の危険
- ↳ 身体的・心理的なトラウマ
- ↳ 危険への無力感と心細さ
- ↳ 人間としての尊厳の侵害等
- ↳ 具体的に
 - ☞ 戦争
 - ☞ 自然災害
 - ☞ 交通事故
 - ☞ テロリズムによる災難
 - ☞ 愛する人の他界
 - ☞ 性的暴行の被害
 - ☞ 家庭内暴力
 - ☞ 略取や誘拐
 - ☞ 小児期の無視等

PTSD・病因

9

- ↳ 再体験 (Re-experiencing)
- ↳ 過覚醒 (Hyperarousal)
- ↳ 回避 (Avoidance)

PTSD・主な症状

10

- ↳ 再体験 (Re-experiencing)
 - ☞ 記憶の侵入
 - ☞ 悪夢（トラウマと関係するとは限らず）
 - ☞ トラウマを思い出させる切っ掛けへの身体的反応と精神的不安定等

PTSD・症状(1)

11

- ↳ 過覚醒 (Hyperarousal)
 - ☞ 睡眠障害
 - ☞ 怒りやすさ
 - ☞ 長い間続く過度な警戒状態
 - ☞ 集中力の欠如等

PTSD・症状(2)

12

↳回避 (Avoidance)

- ☞ 記憶を忘却する傾向
- ☞ 感情の麻痺
- ☞ 物事への興味の減退・未来への希望の薄れ
- ☞ 社会生活を営む上での困難等

PTSD・症状(3)

13

- ↳ 両親との分離への恐れ
- ↳ 習得した知識やスキルの忘却
- ↳ 内容のはっきりしない悪夢を含めた睡眠障害
- ↳ 遊びや物語、絵などを通したトラウマの表現
- ↳ トラウマと関連しない物事への病的恐怖や不安
- ↳ 苛立ち、攻撃的になること
- ↳ 原因不明の体か心の痛み等

PTSD・未成年者に見られる特異的な症状

- ↳ 心、身の苦痛
- ↳ 日常生活機能に支障
- ↳ 社会生活の営みに悪影響
- ↳ うつ病や薬物依存などのおそれ等

そんなPTSDと向き合って、 私たちにできることは？

- ↳ PTSDに関する基本知識を得ておく
 - ☞ 身近な人にも伝える
 - ☞ 注意や意識を喚起
 - ☞ 災害時・後、自分自身とまわりの状況によって、できれば、知識を活用し、助け合う

PTSD・支援と注意点(1)

16

↳映像などによる強い心の刺激から子どもを守る

- ☞ 現場から離れているものの、PTSDが生じ得る
 - ☞ 災難の映像を視聴
 - ☞ メディアで被災状況を知る等で
- ☞ 既に被災した子どもにとって、二次的被害になるおそれあり

PTSD・支援と注意点(2)

17

↳相手のそばにいる

- ☞ 相手がトラウマの話をしようとする場合
 - ☞ 関心を示す
 - ☞ 聞くだけで効く
 - ☞ 安易にアドバイスをしない（これは把握しにくいいため、専門家に任せる）
 - ☞ 話を全般的に受け入れるように、理解と尊重を示す
 - ☞ 辛抱強くサポートする姿勢が大事
- ☞ 相手がトラウマについて話したがない場合
 - ☞ 無理に話をさせない
 - ☞ 安心感と信頼感を与える

PTSD・支援と注意点(3)

18

自分自身の心身状態に気をつける

- ☞ 「まず自分の酸素マスクを着用しないと、他の人は助けられない。」
- ☞ まず、自分自身の心身健康を確保
 - ☞ 自分にとっては大事
 - ☞ 相手のサポートにとっても不可欠
 - ☞ さもないと、両方に悪影響を及ぼしかねない

PTSD・支援と注意点(4)

19

**PROUD
TOUGH
STRONG
DETERMINED**

Always remember, if you have been diagnosed with PTSD, it is not a sign of weakness; rather, it is proof of your strength, because you have survived!

meethill.com

Michel Templet

トラウマを抱える方々への一言

20

- ☞ Breslin, S. (2011, August 29). After Hurricane Katrina, Years of Post-Traumatic Stress. *The Atlantic, National*.
- ☞ Hartocollis, A. (2011, August 9). 10 Years and a Diagnosis Later, 9/11 Demons Haunt Thousands. *The New York Times, NY/Region*.
- ☞ Liu, X. et al. (2009). Relationship between Post Traumatic Stress Disorder and Perceived Social Support among Middle School Students in Wenchuan Earthquake. *Chinese Journal of Epidemiology*, 2009 October, Vol. 30, No. 10, pp. 1017-20.
- ☞ Smith, M. & Segal J. (2015). Helping Someone with PTSD - Helping a Loved One or Family Member with Post-Traumatic Stress Disorder. *Helpguide.org*.
- ☞ Smith, M. & Segal J. (2015). Post-Traumatic Stress Disorder (PTSD) - Symptoms, Treatment and Self-Help for PTSD. *Helpguide.org*.
- ☞ 厚生労働省. (2011). PTSD. 知ることから始めよう みんなのメンタルヘルス総合サイト.
- ☞ 日本放送協会・仙台. (2015, March 8). 東日本大震災「震災4年 被災者1万人の声」. *75 minutes* [Television broadcast]. Tokyo: NHKスペシャル.
- ☞ 孙宇理, 朱莉琪. (2009). 地震后儿童创伤后应激障碍的影响因素(综述). *Chinese Mental Health Journal*, Vol. 23, No. 4, pp. 270-4.
- ☞ 叶利云. (2009). 地震后儿童与青少年PTSD特点、影响因素及其治疗. *社会心理学*, 第24卷, 2009年第一期, 总第101期, pp. 40-4, 90.

参考文献・資料

21

ご清聴 ありがとうございました



22

非核化が正解か、 そして私たちができること

第4回世界10大学合同国際学生フォーラム
ヴァンダーbilt大学
キム、ルイス

[1]

アメリカの災害と災害の一般的な被害

災害

- 西部の地震と山火事
- 中部のハリケーンとトルネード
- セイントヘレンズ山の噴火

被害

- 負傷
- 停電
- 水と食料の不足
- 非衛生的な環境による伝染病

2

大学生としての助け方

- ファンドレイジング
- ボランティア活動
- 正確な情報を共有し、緊急時の混乱を緩和



Clarke to Host Hurricane Katrina Car Wash Fundraiser

posted on September 28, 2005

The Clarke College Campus Ministry Office, in conjunction with Central Alternative High School, will host a carwash fundraiser to support Hurricane Katrina relief efforts on Saturday, Oct. 1, from 10 a.m.-2 p.m.

The carwash is free, and all donations will support relief efforts. Locations include K-Mart, Shopko, Econofoods, Staples, Thesens and Toys'R Us.

3

反核運動

- 2011東日本大震災の余波である津波によって福島第一原子力発電所事故が発生
- 1986のチェルノブイリ原子力発電所事故に続いて二番目の国際原子力事象評価尺度 (INES) 7 事故
- INES Level 7: 国を超えて、他の広範囲な地域に放射能被害を与える大量の放射性物質を放出させた事故
- 日本政府によって福島の半径30 km閉鎖
- 放射性漏れ: 現在まで約940PBq、今も毎日60GBqの汚染水
- “汚染地域に居住している女の子の甲状腺癌発生率は0.75%から1.25%まで約70%上がり、女の子の癌の発症率は約4%上昇すると予想” -世界保健機関 (WHO)

4

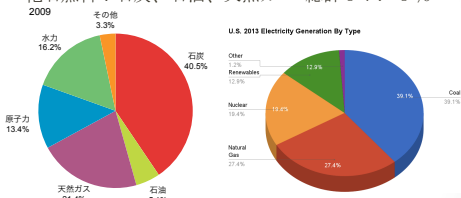
いろんな発電の一般的な経済的効率

再生可能エネルギー		火力と原子力
難しい	入地条件	簡単
不可能	負荷調節	可能
低率	投資対比効率	高率
不可能	大規模発電の可否	可能

5

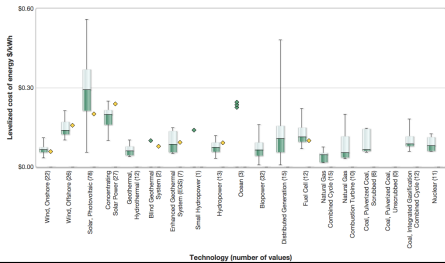
全世界と米国の発電比率

- 化石燃料: 石炭、石油、天然ガス 総計67.0%



6

2009-2014 燃料源別総発電単価



7

発電方式による環境的有害性

- 火力: 大気汚染と有限的埋蔵量
- 原子力: 少ない大気汚染、核廃棄物、放射性事故の危険
- 水力: 海洋生態系の破壊
- 風力: 生態系攪乱、騒音被害
- 潮力: 干潟の破壊
- ソーラー: 広い敷地の必要性
- 地熱: ほとんど無害だが、火山地帯が条件

8

原子力の現在

“環境主義者たちが化石燃料に反対して再生可能エネルギーを主張するだけでは不十分である。必要なのは風力や太陽光のみ、という小説のような話を信じることは自分自身をたますこと。...今は、環境主義者たちが再生可能エネルギーの供給を構築するための努力をしながら、より安全な原子力システムの開発と拡大を採用して、深刻な地球温暖化の脅威を解決する時。”

-ジェームズ・ハンセン元米航空宇宙局 (NASA) ゴダード宇宙研究所所長、カーネギー研究所のケン・カルデア博士、マサチューセッツ工科大学のケリ・エマニュエル教授

9

未来の発電技術

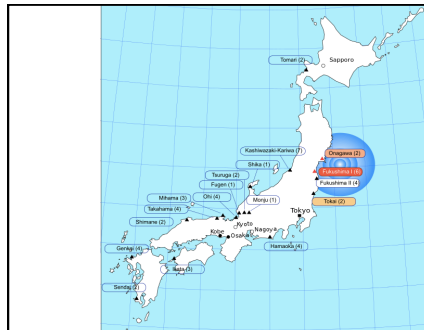
- FutureGen 2: 火力発電中発生する二酸化炭素を再捕集する技術
- 深部地熱発電: 世界の50%以上の地域で可能な地熱発電で、現在大衆化されてある

10

原子力事故の原因

- 今まで99件の事故
- レベル5以上の事故含めたほとんどの事故は人災
- 「原因を自然災害だと結論を出してはならず、防ぐことができた事故を防げなかった。人間が作り出した災害である。」
-国会事故調査委員会

11



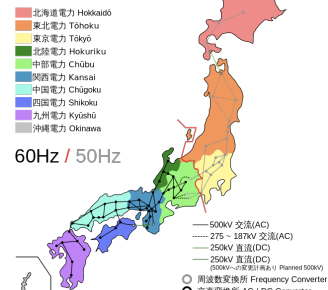
12

大学生とソーシャルネットワーク

- FacebookとTwitterなどのネットワークを通じて全世界が接続
- コミュニティで匿名の多数と議論
- 個人インターネット放送局開設
- 一人一人の莫大な潜在的影響力
- 悪い例：3月13日前後関西地方で「関西にお住まいの皆さん、関西電力から東北電力に電力供給を開始しました。必要なプラグは抜くなど節電に協力してください。このメールを周囲の他の人にも伝播してください。」と言うメールが広がりましたが、事実でなかった。関西と関東では周波数が違って電力供給が難しい。

13

日本の電力網と電力会社の管轄
Electricity grid and companies in Japan



14

終わり

ありがとうございました。

{ 15 }

1

災害の後、大学生としてあなたは何をすべきでしょう？

Gabriela Siemienkovicz
Agnieszka Krafińska
Paulina Magrzyk



ワルシャワ大学
東洋学部
日本学科



ポーランド 序論

4

ポーランドの国旗と国章



5

ワルシャワ大学



6

ワルシャワ大学の日本学科





洪水について



写真 : Kacper Kowalski



写真 : Polish Press Agency



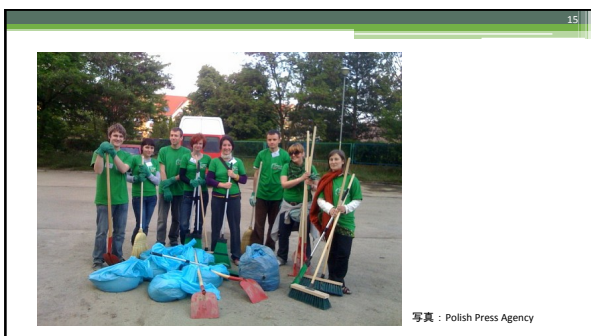
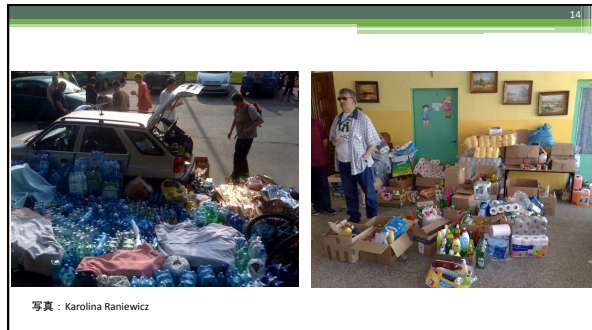
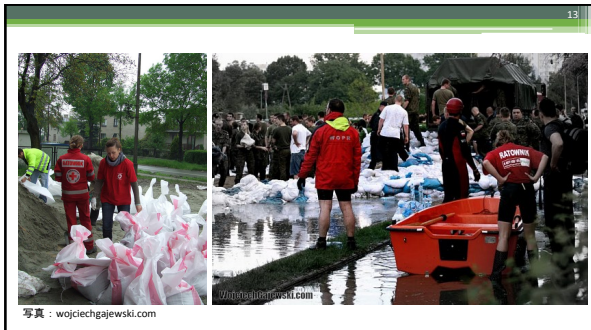
写真 : Pawel Stauffer



写真 : Polish Press Agency



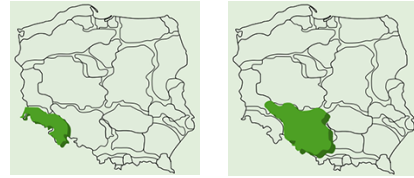
写真 : Adam Janiuk



- 16
- ### 水害
- ❖ 人命の損失（死者、行方不明者、負傷者）
 - ❖ 住宅の全壊・半壊
 - ❖ 住宅の浸水
 - ❖ 資財の流失
 - ❖ 農業など産業面の被害



1997年の洪水



ズデーテン山地とシレジア地域



ニシヤ川

写真：arch. RZWGW



グロツワフ市
写真：Mieczysław Michalak



1997年の洪水
写真：Agencja FORUM



1997年の洪水
写真：Agencja FORUM



水流測定寸法



ケンジェン・コジレの周り
写真: Rafat Klimkiewicz



ザオツジエ
写真: Pawel Stauffer



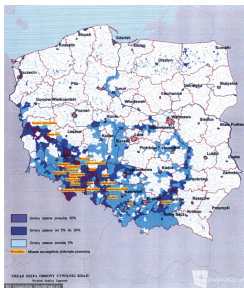
写真: Polish Press Agency



写真: Boguslaw Mrukot



写真: Boguslaw Mrukot



2010年の洪水



サンドミエッジ市
写真：Grzegorz Krzyzanowski



サンドミエッジ市
写真：Kacper Kowalski



写真: Polish Press Agency

Wielka Orkiestra Świątecznej Pomocy
 ヴィエルカ・オルキエストラ・
 シヴィオテチネイ・ポモチ



写真：PAP pt. WOŚP



イェジ・オフシャック



WOSPのおかげで買った病院で使っている機械



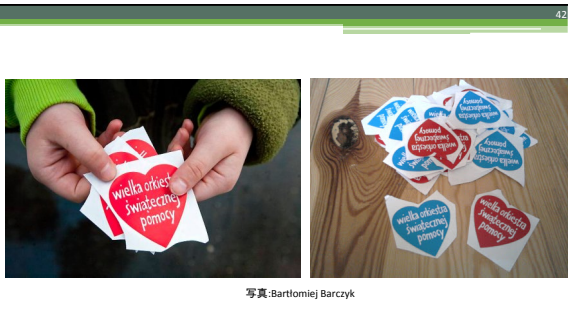
写真：PAP



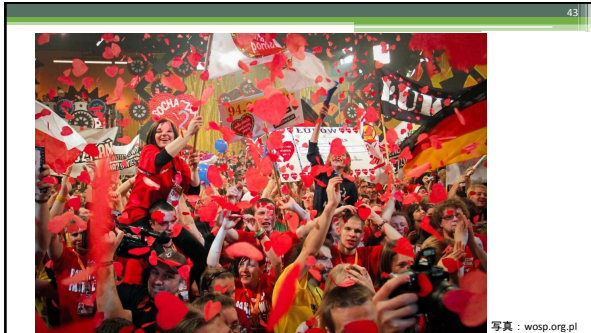
WOSP ファイナル
写真：Łukasz Widzimowski



写真：Agencja Gazeta



写真：Bartłomiej Barczyk



45

NGOの働きはポーランドで本当に重要なことです。

46

ポーランド・カリタス CARITAS
POLSKA (カリタス・ポルスカ)

47

ポーランド赤十字社
POLSKI CZERWONY
KRZYŻ (ポルスキ・チェ
ルヴォニ・クシジ)

POLSKI CZERWONY KRZYŻ

48

クリスマス大管弦楽団
WIELKA ORKIESTRA ŚWIĄTECZNEJ POMOCY
ヴィエルカ・オルキエストラ・シヴィオテチネイ・ボモチ

洪水にストップ
2010年7月4日
ポーランド全国

ポーランド人道活動集団
POLSKA AKCJA
HUMANITARNA
(ポルスカ・アクチャ
・フマニタルナ)



写真: Kacper Kowalski, 2010年の洪水, Sandomierz (サンドミエッジ)



写真: Kacper Kowalski, 2010年の洪水, Sandomierz (サンドミエッジ)

誰かを助ける時、
まず自分が安全だと確認して、
それから助けて下さい！

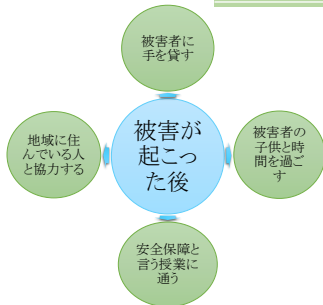
災害がまだ起こらない
時

自分が住んでいる
地域を知識する

どこが危険になりそ
うか確認する



写真: Polish Press Agency, 2010年の洪水, Kwików (クヴィクワフ)



写真：Polish Press Agency. 1997年の洪水、Racibórz (ラシブジ)



写真：Polish Press Agency. 2010年の洪水、Bogatynia (ボガティニア)

ご清聴まことにありがとうございました！

大学生なりの力

アメリカ
マウントホリヨーク大学
ウオールドマン・アニー

1

アメリカの災害

- 地域によって違う
- 2005年8月ハリケーンカトリーナ



2

ハリケーンカトリーナ

- 1836人が死んでしまいました。
- 避難するべきでしたが、方法がありませんでした。



3

避難所

他人事ではなくて、自分の問題だと感じるようになりました。



4

東日本大震災

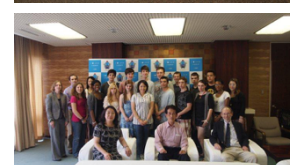
アメリカ人として私たちしかできないことがあるか



5

募金活動

私たちは大丈夫でしたが、被災者は大丈夫ではないと伝えるようにしました。



6

大学生ができること

大学生の私たちはお金があまりないかもしれませんが、世界中に被災者を助けることができる知り合いはたくさんいるのではないのでしょうか。



7

まとめ：リーダーになりましょう

インターネットを使って、情報をシェアし、お金を集め、必要としている所に送ることができるのではないのでしょうか？




8

2015年3月12日
第4回 世界10大学合同国際学生フォーラム

震災復興を超えた グローバルな対話と努力

国内、国外災害の時、ドイツは何ができますか？
大学生としてあなたは何をすべきでしょう？

発行者 カロリン・ベックス、アレクサンドラ・シュテファン



目次

1. ドイツのプロフィール
2. 世界各地で起きた自然災害
3. ドイツで起きた自然災害 (洪水、嵐、降雹)
4. ドイツの国際援助機関
5. ドイツ大学の東日本大震災に対する活動
6. まとめ
7. 質疑応答

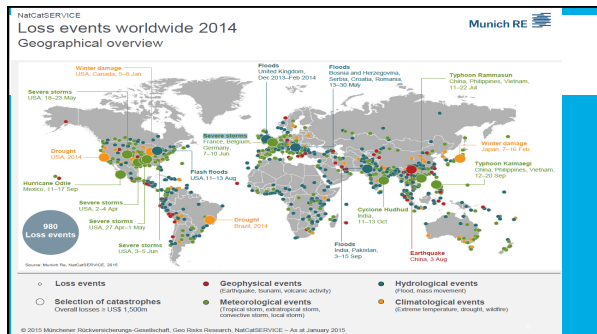
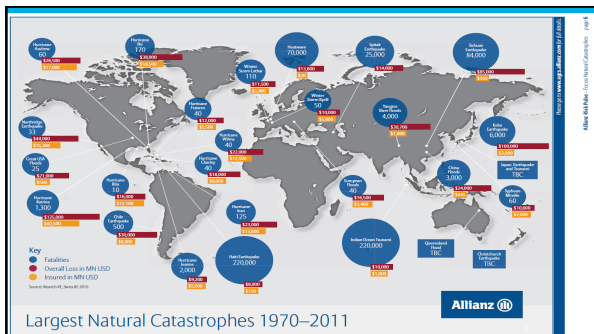
1. ドイツについて





- ・首都: ベルリン (Berlin)
- ・人口 (2013年現在): 8058万人
- ・首相: アンゲラ・メルケル
- ・地理の特徴: 南-アルプス山脈, 北-バルト海と北海、東-平地
- ・気候: 温帯、降雨量が多い (特に夏に多い)
- ・平均気温: 1月 約2,2 度

2. 世界各地で起きた自然災害

3. ドイツで起きた自然災害

大洪水 (2013年6月)



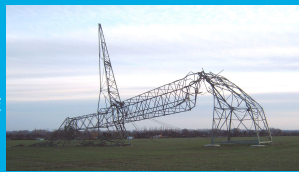
- ・原因: 23兆リットルの降雨
- ・被災地: ドイツの東と南東
- ・死者: 8人(ヨーロッパ25人)
- ・損害額: 117億ユーロ
- ・水害対策: 砂袋, 堤防, 避難



3. ドイツで起きた自然災害

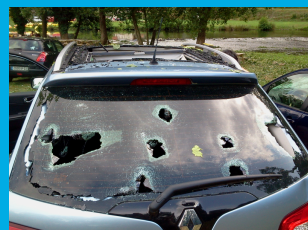
シリル(Kyrrill) - 激しい嵐 (2007年1月)

- ・損害額: 4.3億ユーロ
- ・死者: 13人
(ヨーロッパ: 47人)
- ・時速225キロメートル
- ・影響: 飛行機欠航相次ぐ、停電、交通にも支障(電車、車、船)、学校・仕事の休みも認められた
- ・起こる可能性: 100年に一回



3. ドイツで起きた自然災害

降雹 (2013年7月)



・損害額: 3.9億ユーロ



4. ドイツの国際援助機関



THW (German Federal Agency for Technical Relief)

- ・1950年8月22日に結成
- ・活動: 国内と国外, 目標: 災害救助.
- ・80年代から海外専門部隊, ドイツの国際関係の政治に関して重要な機関
- ・会員: 83000人, 職業訓練, ボランティアとして入ることも可能
- 拠点: ボン



4. ドイツの国際援助機関



ドイツ救助活動 (Aktion Deutschland Hilft)

- ・ドイツの様々な援助機関が合併
- ・外国の災害援助が主な活動
- ・拠点: ボン
- ・戦争、地震、食糧難、洪水と他の災害



5. ドイツの大学の東日本大震災に対する活動

- ・デュッセルドルフ大学: „Heart on Coin - Kizuna 絆“
関西学院大学と協同、宮城県の小中学校を中心とした教育機関への支援(2011年4月1日-2013年12月31日)、募金活動(独日文筆プロジェクト、写真展、[とも]雑誌やCDの販売、日本デーなど)
- ・トリア大学: 募金活動(毎週に都心で折り紙、書道の作品の販売やチャリティー・コンサートなど)、五ヶ月後39000ユーロ
- ・ボン大学: 寄付金への呼びかけ(ドイツ赤十字社、Aktion Deutschland Hilft、betterplace.org)、慈善興行など、2015年3月11日(東日本大震災の4周年日) ケルン日本文化会館で[三陸海岸大津波 吉村昭、映画祭]



6. まとめ

災害援助をしたい時、以下のことができます:

- ・寄付する, 慈善興業を行うこと
- ・国際援助機関などでボランティア活動をする
- ・情報を集める
- ・広報活動をする(ブログでバナーを使うこと、ソーシャル・メディアでシェアすること)
- ・災害対策・影響・政治に対する認識を高める(デモなど)

7. 質疑応答

- ・震災の確立が高い国に行く前に、災害訓練に参加すべきでしょうか?
- ・メディア報道の大事さ・パニックを避けるために報告しないべきか
- ・東日本大震災の政治的な効果はドイツでは、強かったのですが(原子力を離脱)、貴方の国ではどうでしょうか?

ご清聴ありがとうございました



What we can do as students before and after disaster

Haruna Matsushita
Saki Sano

1

What we can do before disaster

2

Top 5 disasters which brought a great loss

1. The Great East Japan Earthquake(2011, Japan)



2.The Great Hanshin-Awaji Earthquake(1995,Japan)



3. Hurricane Katrina(2005, USA)



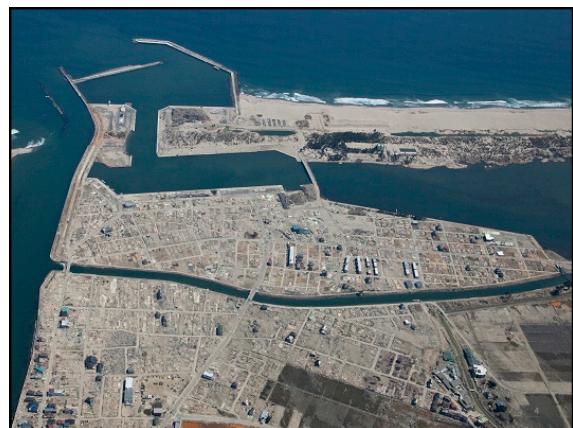
4. North Ridge Earthquake (1994, USA)



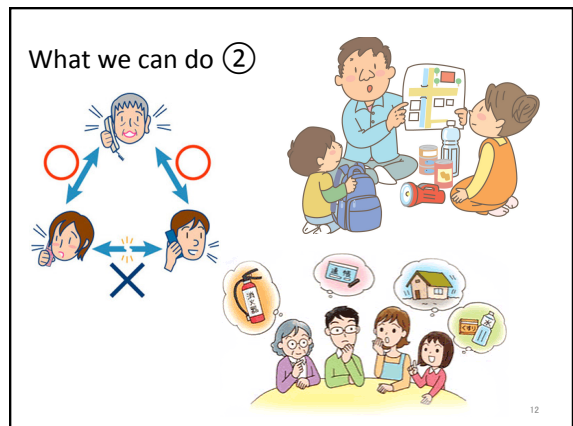
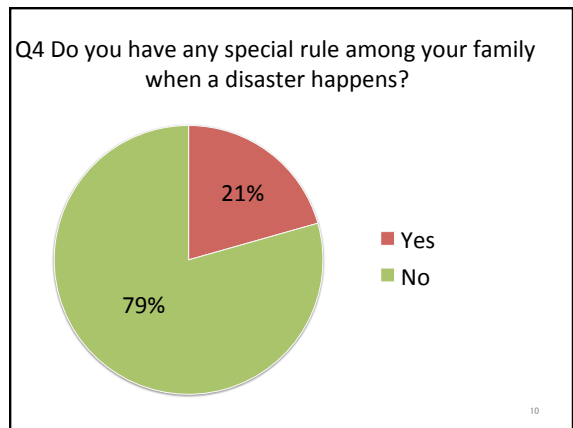
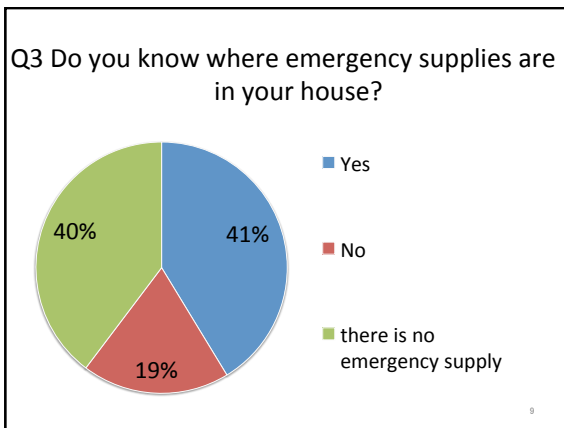
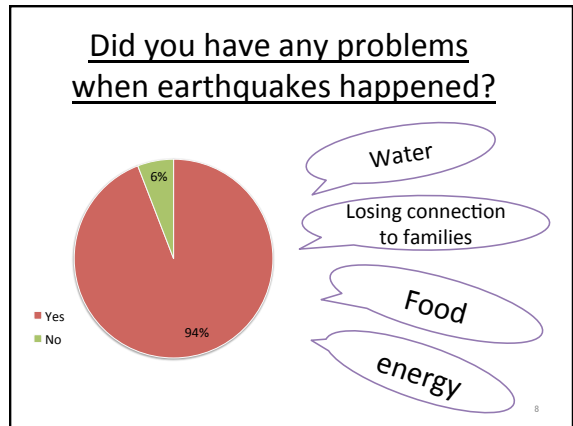
5. Wenchuan Earthquake(2008, China)



3

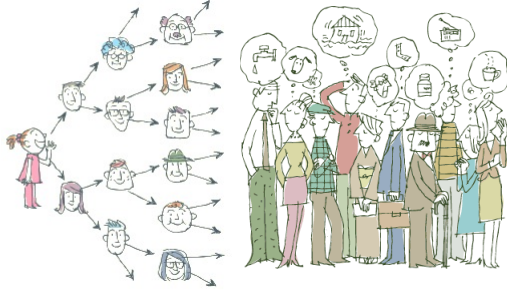


Top 10 Safest Countries In The World To Settle In 2014		Top 10 high risk disaster cities in the world To settle in 2013	
1. Japan	safety Rate Variable:86.89	1. Tokyo/Yokohama (Japan)	
2. Taiwan	83.74	2. Manila (Philippines)	
3. Hong Kong	83.43	3. Pearl River Delta (China)	
4. South Korea	82.60	4. Osaka/Kobe (Japan)	
5. United Arab Emirates	81.99	5. Djakarta (Indonesia)	
6. Malta	81.46	6. Nagoya (Japan)	
7. Luxembourg	81.25	7. Calcutta (India)	
8. Georgia	80.43	8. Shanghai (China)	
9. Bahrain	80.21	9. Los Angeles (USA)	
10. Singapore	80.02	10. Tehran (Iran)	



Learn and spread

→ raising people's awareness on disaster prevention



13

What we can do after disaster

14

What are student like?

15

Features of students



Not adults,
not children



16

My Starbucks Story



17

In March 2013



18

Collabo School(コラボ・スクール)

- ◆ Provide study environment to children
- ◆ Volunteer students teach study
- ◆ Only accept volunteer who can work for at least one month



19

reference

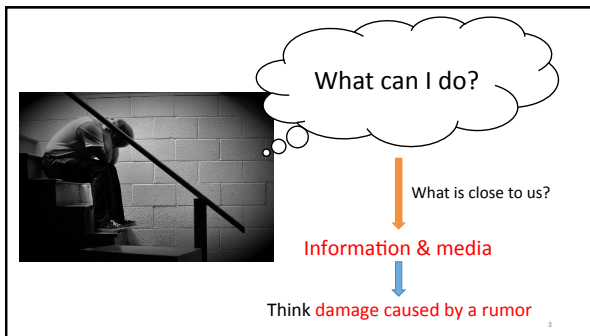
- Top 5 most expensive natural disasters in history
<http://www.accuweather.com/en/weather-news/top-5-most-expensive-natural-d/47459>
- 名取市における東日本大震災の記録
<http://www.city.natori.miyagi.jp/index.php/soshiki/soumu/311kiroku/index/gazou/hikaku>
- A global ranking of cities under threat from atural disaster
http://media.swissre.com/documents/Swiss_Re_Mind_the_risk.pdf
- 消防防災博物館の震度6以上の地域の被災経験者アンケート結果
http://www.bousaihaku.com/cgi-bin/hp/index2.cgi?ac1=B230&ac2=B23003&Page=hpd2_view
- 地震イツモキット
http://www.daijyoubu-campaign.com/pdf/renraku_memo.pdf#search=被災した時+家族との連絡

20

Disasters and media, information what can you do? Case of the Great East Japan Earthquake

Ochanomizu University
Kitano Kanako
Takashima Saki

1



3

The Great East Japan Earthquake

Time the earthquake happened: March 11, 2011 (Japan time)
Magnitude: 9.0

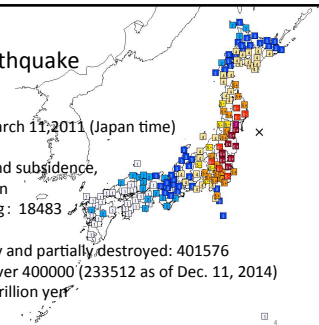
Damage: Tsunami, Liquefaction, Land subsidence,
nuclear accident, and so on

The number of fatalities and missing: 18483
(As of Jan. 9, 2015)

The number of buildings completely and partially destroyed: 401576

Refugees right after earthquake: over 400000 (233512 as of Dec. 11, 2014)

The amount of damage: about 2.5 trillion yen



4

Damages caused by a rumor of radioactivity

(1) There were drivers who were afraid of radioactivity leak by explosion accident of Fukushima First nuclear power plant and refused to deliver relief supplies at the area where is over 30 kilometers far from the nuclear power plant.

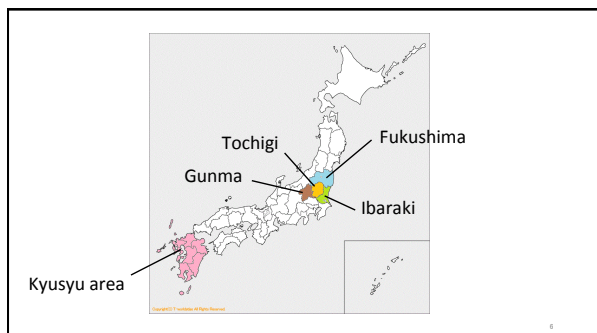
(2) Some retailers avoided and returned vegetables which had grown in Fukushima, Ibaraki, Tochigi, Gunma and didn't get the shipment stop measures.

(3) Refugees from Fukushima were denied reception at some lodgings for fear about radioactivity.

(4) When a refugee stopped a taxi, the driver who was frightened of radioactive pollution refused to pick him up.

(5) Many foreign tourists canceled visiting Japan, this case appeared at hotels in Kyusyu where were not related to the earthquake directly.

5



6

Causes of rumors

1. Circulation of inaccurate information about unknown accident and various opinions of experts.
→ Degeneration of the reliability of information
2. Information about agricultural and marine products which were above the safety limit.
→ Fear for safety assurance
3. Every day news about polluted water of Tokyo electric power company.
→ increasing anxiety for safety

National newspaper



Figure: the proportion of Japan national newspaper about the Great East Japan Earthquake (from March 12 to April 11)
Hanada Tatsuro "Did newspaper report the Great East Japan Earthquake correctly?", Waseda University publisher, 2012, p4



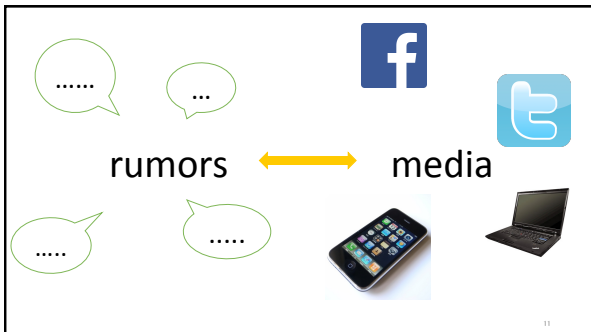
Have you ever seen this picture?



Before processing

After processing

taken by Mike Hollingshead, 2004



Types of media



Flow media in natural disaster

Focusing on the trend of Twitter in the Great East Japan Earthquake

- Tweets that include the word “地震 (earthquake)”, summed up to 246,075 by the end of March 11th
- Increase in the number of people who newly joined Twitter, compared to the previous month
- Twitter had officially provided official hashtags in order to organize all the information (Actual Tweet on next slide→)

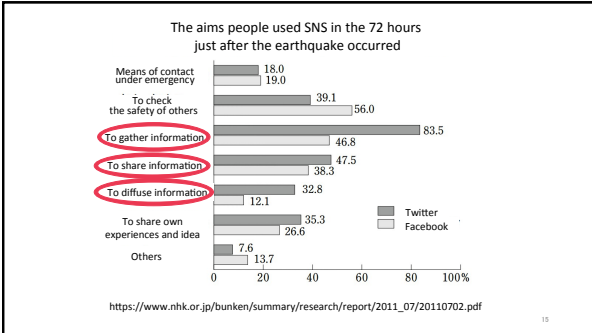
13

Temporal hashtags Organized on March 12th

Final hashtags

- #jishin: General information on the earthquake
- #j_helpme: Only used when calling for help
- #hinan: Information on evacuation
- #anpi: Information on someone's safety
- #311care: Information on medical help, mainly for the victims
- #311sppt: Only used when victims need help or supplies

14



Tweeted on March 12th, 2011

16

The affects of inaccurate information

Significant Statistics taken in 2012:
Many vegetables that were grown in Fukushima, Tochigi, Gunma, Ibaraki and Chiba were being rejected by retailers, although its radioactive substance was under the standard level, and was proved scientifically safe

The specific number of the amount of damage goes up to....

14.4 billion yen
(12 million US dollars)

17

Conclusion

So....what can we do?

To have the ability of MEDIA LITERACY

18

Examples of media literacy

When sharing or diffusing information...

- Be responsible of what you share
- Make sure it's an official information

When gathering information...

- Keep in mind that inaccurate information is scattered everywhere, and always be doubtful



グループ討論の結果

グループ 1

参加者：佐藤葵、Ko Sunbum、Chaimongkon Rattanaporn、Yang Yilong、Becks Carolin

1. 私たちが海外で震災が起こった際に出来る支援

ドイツやアメリカではチャリティーの意識が強いため人々が募金を行ったり、NGOの活躍が目立つ。タイでは募金やコンサート、You Tubeで応援のメッセージを込めた歌が精神的なサポートとしてアップされた。日本や韓国でも募金を行ったり、民間が行動を起こすことは出来るが、国内ばかりになってしまったりNGOもそれ程目立つ存在ではないため、海外への支援には様々な課題があると思う。

2. 我々がリーダーになるために行うこと

文化間での差も多少はあるが、積極的に自分がリーダーになろうと行動することは難しいのではないか。リーダーになるということは、団体の一員として組織する力が試される。ただ指示を行うのではなく、リーダーが一番努力をしなければならぬ。

3. 震災の多い国に留学・滞在する際は事前に訓練を受けるべきか

災害の少ない国では訓練の経験が少ない。震災が起こった際何をするか把握出来るようにするために訓練を受けるべきである。しかしあまり訓練ばかりすると、真剣に取り組まなくなっていくし、実際に震災が起こった時に生かされないのではないか。本当にいざというときに役立つ訓練の必要性。

4. メディアリテラシーを持つために

日本はもっとメディアリテラシーに対する教育を行うべきである。メディアは見たいものしか報じない。たとえ報じられたものが事実であったとしても、それは全体のほんの一部でしかない。そのために個人が責任を持って情報を選択し判断する必要がある。

5. 震災が起こった時我々がすべきこと

人々は震災が起こるまで、震災に対する知識がほとんどないので実感を持つことが出来ないし、実際に起こったらおそらくパニック状態になるであろう。しかし今回のフォーラムを通じて我々は知識を得た。これからも学習を続けることで更なる知識を身につけ、震災の際にはそれを生かすことが出来るよう行動することが重要である。自分の出来る限りのことを、他の人に役に立てるような行動をする。

グループ 2

参加者：河純鳳、Lewis Kim、Agnieszka Krańska、Alexandra Stephan、宋佩、佐藤文香

1. 各国の訓練について

まず私達は、お互いの国に訓練があるのか、そしてそれは機能しているのかどうかについて話あった。日本において訓練は存在しているがそれは形式的なもので、参加者の意識も低く、あまり意味のあるものだと思えない。ドイツもこの点に関しては同じことが言えるらしい。韓国は民間防衛というものがあるが、日本・ドイツの訓練と同様、あまり意味があるとは思えないらしい。ポーランドは災害という災害が洪水くらいしかないので、訓練というものは存在せず、アメリカは地域によって災害発生確率が異なるので、日本のように統一された訓練といったものはないという。避難所は設置されていないが、各家庭に避難用の地下室があるらしく、それは災害対策というよりもテロ対策という意味が強い。

2. 日本が今後災害対策においてすべきことは何か。

国によってそれぞれ災害対策やそのシステムが異なるということで、外国人が日本に来た際に必要だと考えられる対策・サポートについて話あった。まず一つ目に、世界共通の避難所や危険箇所用のマークを作り初等教育レベルで周知を徹底すること。それによって、日本語がわからない外国人でも、日本において避難所の場所がわかるようにする。二つ目に、飛行機内でのシートベルトのアナウンスなどと同様に、日本に向かう飛行機で日本の災害について伝えること。これは、地震などの日本の災害について全く知識がない人々のため、万が一地震が発生した時に求められる行動などを伝えるものである。三つ目に、日本の空港に、防災館にあったような地震体験コーナーを設置し、特に日本に長期滞在する留学生などには必ず体験してもらうようにすること。地震が全く発生しない、という国からやってくる外国の方には、一度地震がどういうものなのか、身を以て体験してもらうことが必要なのではないか。四つ目に、日本人は災害や防災についてもっと知識を深め、いざという時に外国の人々を導くようなリーダーシップを持つことである。防災に対する意識を高め、それを一部の人のみではなく、より多くの人々に周知させることも重要だ、という結論に至った。

グループ 3

参加者：松下華菜、北野奏子、Woldman Annie、Jiang Yifan、Bartosova Lucie

私たちのグループでは①災害時における外国人への対応②学生が今からでも出来る取り組みという2つのテーマについて話し合った。

①災害時における外国人への対応

Lucieさんが実際筑波大学に留学していたときに参加した避難訓練での体験を元に様々に話し合った。彼女はサイレンの意味の判断（地震なのか火事なのか）がつかない、鳴ってもどこに行けばよいかわからなかった、英語が非常に聞きとりづらかったなど外国人の視点からの避難訓練の欠点を挙げてくれた。また訓練自体に緊迫感がなく、参加している学生も真剣に取り組んでいなかったことも述べていた。私たちは災害時において防災訓練が担う役割の大きさを話し合いの中で再確認しつつ、挙げられた問題点の対策として、世界共通のサイレンの音があればよい、日本人の学生が災害時に積極的に外国人を誘導するよう努めるなど多くの案が出された。

②学生が今からでも出来る取り組み

学生が今出来ることの案としては、日本人が各地からの寄付金を上手く使えないことを考慮しながら話し合った。これは、日本人がお金を受け取るという行為自体に少し抵抗があることが関わっているのではと考えた。

そのなかで提案されたのが、被災地への寄付金をサイクルするという考えである。まず学生たちが大学などといった場でチャリティーイベントを開催することでお金を集める。そしてそのお金は被災地へと送られるが、お金を受け取った人たちはまた災害が起こって困った地域があれば、その援助として受け取ったお金をまたその地域に送るという仕組みである。このようにすることで、被災地の方々が寄付金を受け取る負い目をあまり感じる事がなくなり、私たちも被災地の方々を助けたいという思いを届けることができる。またこのシステムにおける信頼性を周りから得るために、学生がお金の送り先、使い道を整理し寄付して下さった方々に明示することにした。ただし、学生団体はどうしても信用を得にくいなどまだまだ欠点は多く挙げられるが、このように大学生が主体的に案を出し合い、行動しようと意欲的であることは大きな一歩であるように思われた。

グループ 4

参加者：富岡志寿子、Birnerova Aneta、Magrazyk Paulina、Yin Siyuan、小川諒子

私たちのグループはいつか起こる災害のために訓練が必要かというテーマについて議論した。日本人を除きメンバーの多くの国では防災訓練という概念がなかったものの全員の意見は必要であると一致した。その理由としては、訓練で災害を想定していれば慌てずに冷静に行動することができ、被害も減るためである。

だが、実際に東日本大震災の時、何度も避難訓練を経験したことのある日本人でさえ訓練通りに行動できずパニックに陥った。このことから私たちは今までの防災訓練は実際災害が起きたときに意味をなしていなかったのではないかと考えた。そして訓練内容変更の必要性があるという結論を出した。その内容としては訓練において実際に地震体験をするということだ。日本人メンバーの体験談の中では今までの防災訓練を真面目に受けてなかった、ただただ指示されるがままに動いていたという意見があった。地震の怖さというものを認識していなかったゆえに先ほどのような行動をとってしまったのだろう。もしその地震の恐ろしさを理解していれば防災訓練も熱心に取り組むだろうし、災害時にある程度パニックに陥ることを防ぐことができる。そしてその地震体験の例として、フォーラム中に体験した防災館における震度7の地震体験が実際のシミュレーションに適していると考えた。

さらに、被害を減らすためには、人々、特に日本人の考え方を変える必要があるのではないかという意見も出た。中国では第一に自分の身を守るということである。例えば、飛行機事故が起きたとき、キャビンアテンダントは乗客を第一に守るのではなく、まず自分の身を守るそうだ。日本では少し考えにくい状況のような気がするが、東日本大震災においても誰かを助けるために命を落とした人は数多くいただろう。それは何とも悲しいことである。他人の命を救う前にまずは自分の命を救うべきだ。私たちはこの意見がもっともであるという考えに落ち着き、日本人もこの考え方に倣うべきだと考える。

グループ5

参加者：小山未空、Ni Yun、Gabriela Siemuenkowska、Thepbundit Chidchanok、高嶋早紀

日本はもちろん、ポーランド、アメリカ、タイにおいても災害訓練は取り入れるべきだという意見だった。しかし、各国において認識度合いに差異が見られ、現実的に考えて難しい部分があることがわかった。知識人のみならず、一般庶民にも幅広く知識を持ってもらうことが、震災時により多くのいのちを救うことに有効だと思い、その解決策を重点的に話し合った。まず、災害時に誰かが率先してリーダーになり、みんなを先導すれば良いのではないか、という意見がでた。そこで、リーダーの定義には国家間で違いがあることが判明したため、全責任をリーダーに背負わせるのは妥当ではない、という結論に達した。そこで、全世界全国民を対象に訴えかけられるものは何かと考え、災害知識を間接的に発信するという案を思いついた。災害と縁遠いポーランド、一人一人が行動力を持つアメリカ、危険認知度の低い洪水国タイ、災害大国日本、それぞれの課題はあるが、学校教育の中で幼少期から世界の災害を知る機会を与えること、子どもを対象とするアニメや絵本で災害

を題材とした作品を奨励することで、実情を改善することが可能だと考えた。特に、アニメ・絵本に関しては、親が読み聞かせることで世代を超えた情報発信にも成りうると同時に、物語の中での災害発生をきっかけに、防災知識・仲間との協力・命の大切さ・先人たちの歴史をもテーマに出来るので、児童文学として十分受け入れられるものだと思う。